

研究課題「治癒切除不能胃癌に対する conversion surgery の治療実態を調査する多施設共同前向き観察研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

名古屋大学医学部附属病院および下記研究機関において、治癒切除不能胃癌と診断され、化学療法開始前までに本研究への参加に同意が得られた 20-79 歳の方。

2. 研究目的・方法・研究期間

治癒切除不能胃癌において、化学療法が奏功した結果、治癒切除不能と判断される原因となった遠隔転移巣が画像上消失するなどして治療方針が外科的切除に転換した場合の手術を conversion surgery と呼び、長期的な予後改善が得られる可能性が指摘され、日常診療でしばしば行われています。しかしながら、狙って達成することではないため、今まで臨床試験の対象になっておらず、その実態、治療成績や臨床的な意義は明らかになっていません。

本研究の目的は治癒切除不能胃癌と診断されて化学療法を行う症例を前向きに調査し、conversion surgery の実施状況、治療成績を明らかにすることです。この研究によって、conversion surgery の実態が明らかとなり、その後に第Ⅲ相試験が行われ、現時点での標準治療である化学療法続行に対する優越性が示されれば、治癒切除不能胃癌の新たな治療戦略の提案ができ、治療成績の向上につながると考えています。

期間：実施承認日から 2027 年 12 月 31 日まで（研究参加は 2023 年 12 月 31 日まで）。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、臨床検査所見、抗がん剤治療の治療歴、画像検査所見、手術治療歴、病理学的所見、手術合併症情報 等

試料：なし

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、本学の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

名古屋大学大学院医学系研究科・消化器外科学・教授・小寺泰弘

愛知県がんセンター病院・消化器外科・部長・伊藤誠二

渥美病院・消化器外科・部長・古池真也

一宮市立市民病院・外科・部長・阪井満

岡崎市民病院・外科・部長・石山聡治
海南病院・外科・部長・高瀬恒信
江南厚生病院・外科・部長・石樽清
県立多治見病院・外科・部長・梶川真樹
公立陶生病院・外科・部長・川瀬義久
小牧市民病院・外科・部長・望月能成
市立四日市病院・外科・副部長・寺本仁
中濃厚生病院・外科・部長・武藤俊博
東海中央病院・外科・病院長・坂本純一
東濃厚生病院・外科・部長・大谷聡
豊橋医療センター・部長・山下克也
中津川市民病院・外科・部長・橋本良二
名古屋医療センター・外科・部長・片岡政人
名古屋セントラル・外科・医長・大島健司
名古屋記念病院・消化器外科・部長・福岡伴樹
西尾市民病院・外科・部長・藤竹信一
名鉄病院・外科・部長・清水稔
久留米大学・バイオ統計センター・准教授・室谷健太

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究事務局：名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学・中西香企

住所：〒466-8550 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

TEL(052)744-2250 FAX(052)744-2252

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科・消化器外科学・教授・小寺泰弘

研究代表者：

名古屋大学大学院医学系研究科・消化器外科学・教授・小寺泰弘